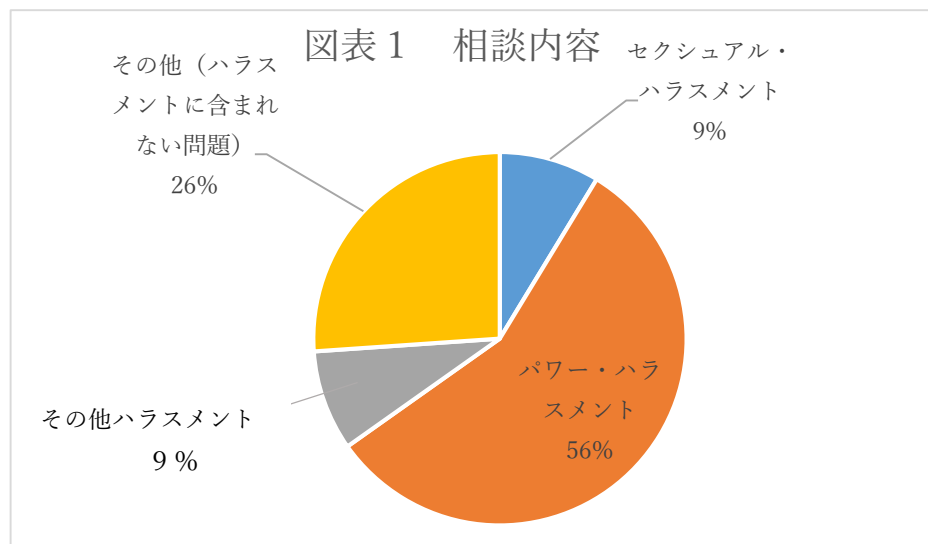


ハラスメントに関する相談の傾向等について（令和7年度）

1 相談内容（図表1）

相談内容は、パワーハラスメントが最も多く、全体の56%を占め、セクシュアルハラスメントが9%、その他のハラスメントが9%、その他（ハラスメントに含まれない問題）が26%でした。



2 相談者との関係性について（図表2）

相談者がハラスメント行為を受けたと感じた相手について、把握できた範囲（内部相談窓口7件、外部相談窓口6件、計13件）ではありますが、上司が10件と最も多く、同僚が2件、他部署の職員等が1件でした。

